

## 「京都水道グランドデザイン」(仮称)の策定について

平成 28 年 6 月  
京都府環境部公営企画課

## 1 背景

- ▷ 人口減少や施設の老朽化、水道技術者の減少等が進む中、厳しい事業環境にある市町村水道について、将来にわたり安心・安全な水を提供するため、府域全体の市町村水道事業の将来展望を示す府の水道ビジョン「京都水道グランドデザイン(仮称)」を策定。
- ▷ 広域化事業については、本グランドデザインへの掲載により国交付金の交付要件になるほか、特に小規模な水道事業体への支援策を講じ、事業の基盤強化を推進。

## 2 主な検討項目(別紙参照)

## (1) 安全性の保証

- ・水道未普及地域への対策
- ・水質検査体制の充実
- ・浄水システム、水源種別ごとの安全対応策

## (2) 危機管理への対応

- ・耐震化率の向上(アセットマネジメントの実施)
- ・応急給水体制の充実

## (3) 持続性の確保

- ・施設の共同化、共有化の推進
- ・広域化の検討
- ・経営戦略の策定推進
- ・人材育成、技術継承の取組

## 3 策定時期

平成 30 年 3 月

- 28年度: 現状分析・評価、課題分析
- 29年度: 将来目標、実施方策の設定

## 4 「京都水道グランドデザイン(仮称)検討委員会」の設置

- ・依頼期間: 平成 28~29 年度
- ・委員会開催: 年 3 回程度

# 京都府営水道ビジョンの改訂について

平成28年7月  
公営企画課

## 1 目的

- 京都府営水道ビジョン（以下「ビジョン」という）は概ね10年後（平成34年）を見通した府営水道の取組の方向性を示すものとして平成24年度に策定。
- これまで、料金の問題について平成27年度の料金改定において実現させる等着実に成果を上げてきた。
- その後の情勢の変化に対応するため、現行ビジョン（H24～H34）の検証・見直しを行う。

## 2 主な見直し内容

現行ビジョンの取組実績を検証するとともに、審議会答申（平成26年11月）で示された課題への対応や、府域全体の水道事業の将来展望を示す「京都水道ランドデザイン（仮称）」との整合性を図りながら検討を行う。

- (1) 府営水道と受水市町との連携や将来のあり方について
- (2) 将来の水需要に対応した適正規模（府営水道・受水市町）について
- (3) 現行ビジョンにおける取組の検証及び見直し

## 3 策定期間

平成30年3月

28年度：現行ビジョン検証、更新投資の見直し

受水市町連携、適正規模

29年度：パブリックコメント案、最終とりまとめ

## 4 「京都府営水道ビジョン検討部会」の設置

- ・依頼期間：平成28～29年度
- ・委員会開催：計5回程度
- ・京都府の規定により、旅費（実費）及び報酬を支給